

都の風 MIYAKO NO KAZE

■発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
 ■編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
 ■ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
 ■お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります

春
号

2016年 No.45



山岡 喜美枝 様 92歳
 生年月日 大正13年1月24日生まれ 左京区在住



ここにちは西賀茂デイサービスセンターです

西賀茂デイサービスセンター 管理者 宮迫 京子

認知症を含めた高齢者の方が住み慣れた場所でいつまでも安心して生活できるよう、地域との繋がりを築いていくこともこれから的一大課題です。

今まで培ってきた近所付き合いなどの地域との繋がりや、その人その人の、社会の中での役割を途絶えさせないよう支援していくことも私達の大切な仕事だと考えています。

デイサービスとは、要介護認定を受けた介護を必要とする方を、朝ご自宅まで車で迎えに行き、体調管理や入浴、食事、レクリエーション、リハビリ等のサービスを提供し、夕方ご自宅迄送るというサービスです。介護保険の根幹である自立支援を目指し、利用者様主体のサービスに心がけています。

団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）に達する2025年頃には介護、医療費等社会保障費の急増が懸念され2025年問題といわれています。

認知症を含めた高齢者の方が住み慣れた場所でいつまでも安心して生活できるよう、地域との繋がりを築いていくこともこれから的一大課題です。

今まで培ってきた近所付き合いなどの地域との繋がりや、その人その人の、社会の中での役割を途絶えさせないよう支援していくことも私達の大切な仕事だと考えています。

No.45



特別講演や対談では、この「守破離」をテーマに食を掘り下げていきました。食べると言うことは人間の欲求のひとつであり、大きな楽しみのひとつでもあります。できれば最高まで自分の好きなものを食べたいと皆さん望んでおられるのではないか。消化器外科の医師、京料理のおかみ、漆器や陶器のデザイナー、京都の和菓子屋が、そのためのプロジェクトチームを作り、何ができるか案を練り上げ結果を導いた活動内容を講演されました。この活動で、嚥下能力の落ちた人でも安心して食べられるおいしい料理や使いやすい器の開発をされています。それは単なる食品や道具ではなく、京都らしい美意識がふんだんに生かされ「おいしさ」「こんな器で食べてみたい」という五感を震わせるような仕上がりになっています。伝統を大切にしつつ新しい物を創造していくまさに「守破離」の体現です。ご覧になりました方は「京滋 摂食嚥下を考える会」のホームページの各種プロジェクトという項目を開いてみてください。（あるいはケアマネジャーに聞いて下さい）

今大会に参加して、ケアマネジャーとしてご利用者の生活に関するあらゆる情報にアンテナを巡らし、基本を大切にしながらもより良い援助を自分なりに作り上げていきたいという思いを新たにしました。

昨年和歌山で行われた「近畿介護支援専門員研究大会」が、今年はこの京都の地で2月1日に開催されました。各種講義や研究発表が行われ当事業所からも2名が研究発表をしました。

今大会のテーマは「暮らしをつなぐケアマネジメント」、早春の京で学ぶ「守破離」です。「守破離」という言葉を耳にされたことはありますか？「守破離」とは柔道や剣道や茶道や華道など武道や芸術の分野で、道を究めるための修行段階のことです。「守」は、流派の基本の型を師に学び、技を守り、身につける段階のこと。「破」は、それを自分で考えながら応用し、さらに「離」で独自の新しいものを生み出し自分のものとして確立させていきます。



渡辺西賀茂診療所 居宅介護支援事業所 佐野 明美

近畿介護支援専門員研究大会 京都大会

研修報告

都会祭り 今年も開催決定!!

日時：5月29日(日)10:00～15:00
 場所：医療介護複合施設にしがも 東側駐車場

昨年に引き続き第2回都会祭りを開催します。今年は、笑顔満祭～つながりの和～をテーマに地域の皆様とのつながりを大切にして、和やかで楽しいお祭りにしたいと計画しています。模擬店や催し事など楽しいことをたくさん企画しています！ご来場お待ちしています。

メドルサム基金

善意の浄財を、皆様のより良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。
 永田信子様、吉田好三様、どうもありがとうございました。

西賀茂デイサービスセンター作品展



森下 憲一様 84歳
「七転八起」「一生懸命貼つたらこうなりました」



斎藤 良子様 84歳
「椿」「布の切れ端を使い、中綿を入れて立体的に作りました」



山川 佐和子様 84歳
「広告チラシでバスケット」「チラシを丸めるのが大変でそれを編み込むのに苦労しました」



瀬良 武敏様 91歳
「シンプル・デイで獲れた夏野菜・猿のノミ取り」「それらしく見えるよう形、色を注意して描かしてもうてます」



伊藤 均様 79歳
「市川 海老蔵」「昔から歌舞伎絵が好きで、劇場の看板をよく見ていきました。好きな俳優は、市川海老蔵です」



佐々木 勇様 74歳
「配色とぼかし方に気をつけている、濃淡をつけて色味がたまらないよう、色の違いが出やすいように描いています」



水野 昭吾様 88歳
「手本を見ながら平均よりちょっと上を目指して、形に気をつけ書いています」



田中 智恵子様 89歳
「最近手が悪いだけ、集中して手が震えないように気をつけて書いています」

ショートステイにしがも作品展



①「漬物」

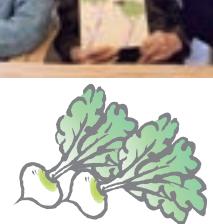
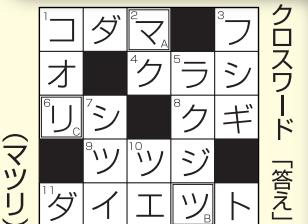
「ここのお食事は美味しいけど、漬物があったらなあ」というご利用者の一言がきっかけでした。センター長が農家をしていることもあり、早速漬物の道具を準備して、「30年ぶりやろうな」と仰っていた90歳代の方がリーダーとなり作業はとてもスムーズ進みました。10日程で漬けあがり、味も上出来でした。次はぬか漬に挑戦しようと計画しています。

②「棒体操」

ショートステイでは毎日、元気に体操も行っており、簡単な道具を使うことで様々な体操ができます。今回は棒体操の棒を作りました。サランラップの芯を利用して綺麗な棒ができました。

③「梅とメジロ」

ショートステイのフロアでは季節を感じられる飾り付けを工夫しており、ご利用者にも飾り付けを作っていただいている。今回は春ということでかわいいらしい梅とメジロの貼り絵を作りました。



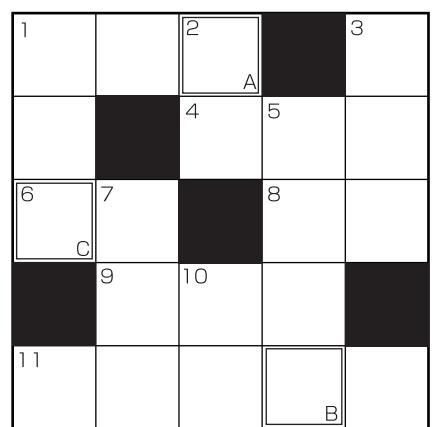
***** 作品紹介 *****

作品紹介

ホームヘルプステーションであい作品展



奥島 照子様 84歳
「何かする事なかったら生きていることがしんどい。趣味があることは良いね!!」



小田正さん S.10.8.25 生
今回お願いしたら都の風用にと
作って下さいました。

11 9 8 6 4 1 よこのカギ
7 5 3 2 冷蔵庫で作れる
6 4 3 1 降りるとき居は終り
5 3 2 不可議ともいう
4 2 1 西に沈む太陽
3 1 がっかり
2 1 三本目の足?
1 1 たてのカギ

クロスワード

出題 小田 正

問題 A～Cをつばぐと答えです

つるさん・かめさん作品展

つるさんかめさんにも桜がさきました～



佐々木 尚枝様



丸岡 いさ様



みんなで作った壁面装飾



手作り名札です
作：思川春枝様



くまさんの
チョッキ
かわいいでしょ♥



山本志津枝様の作品

～おやつ作り～



♡ホワイトデーには
クッキーを



昔と
柄です。



とっても
おいしかった
ですよー



♡お彼岸には“おはぎ”を